

五欲花

五欲(ごよく)とは仏教用語で、人間の五つの欲望(食欲、色欲、睡眠欲、財欲、名誉欲)のこと。欲望が花言葉の赤百合を五欲花にしました。



日本のオペラブル歌劇と驚きのコンサートを世界に
MONDO PARALLELO 歌劇団



〒100-0005東京都千代田区丸の内1-8-3丸の内トラストタワー本館20F TEL 03-5288-5167 FAX 03-5288-5267

HP <https://www.mondoparallelo.tokyo/> マリアセレン公式HP <https://maria-seiren.com/>

第三回能楽堂コラボ公演プログラム

五欲花

GOYOKUBANA

空の空
一切は空である

目録聖書コヘレトの言葉より

マリアセレン

令和四年六月二十六日(日)

十三時開場 十四時開演

梅若能楽学院会館

主催 モンドパラレロ歌劇団

狂言「忘八」使用面



狂言面 石神賢徳

狂言「釣吉」使用面



狂言面 賢徳



狂言面 貝杓子



狂言面 賢徳

小笠原 由祠 作

コロナ禍の中で三年目を迎えた能楽堂コラボ。今回は狂言をメインとしたコラボレーションです。

前回私は鬼嫁の役でしたが今回はなんと海坊主の役で登場します。狂言の笑いの世界とオペラ歌劇団がどういう融合を魅せるのか。私たちが伝統芸能で学んできた間(ま)と非日常的な身体動作の見せ所だと思っています。

能楽堂という不思議でとても神秘的な空間。日本独特の能舞台に立つと何かが宿っていると肌で感じる時があります。数々の能楽師の皆様の想いが舞台に染み付いているのでしよう。その歴史の重さに敬意を払い、新しい挑戦をさせていただく喜びを感じております。

今回の舞台は初公開のオペラのアリアや映画音楽、そして私の新曲を披露いたします。シニールな笑いと和空間と洋楽が織りなすパラレルワールドをどうぞお楽しみください。

モンドパラレロ歌劇団 団長 マリアセレン

今回新作狂言を二作上演するにあたり台本を補綴させていただきました。オペレッタブル狂言とは、と興味津々で台本を手にしましたが、狂言の定石を踏襲しつつも大胆に西洋的かつ現代的なエスプリを利かせた作風に、なるほど、と膝を打ちました。

私自身も狂言の発展と普及を目指して世界中で公演や演劇交流を重ねております。そのため、新しい切り口で日本と西洋の文化、つまり能楽とオペラを新結合させようと試みるモンドパラレロ歌劇団を同志のように感じてきました。今回の新作オペレッタブル狂言「忘八」と「釣吉」が皆様にとどのように受け取っていただけるか、非常に楽しみにしております。

本日はどうぞご遠慮なくお笑いください。笑う門に福が訪れますよう、勤めさせていただきます。

能楽狂言方 和泉流 小笠原 由祠

昨年十月の第二回より二年を待たずして第三回能楽堂コラボ公演が開催されますことを大変嬉しく、また有り難く感じております。

前回、演者が登場する揚幕から最も遠い場所でタクトを振りながら、ある錯覚を覚えていました。私達オーケストラが奏でるオペラの音色が、揚幕から摺り足で登場する能楽師やオペラ俳優たちと時空を超えて能舞台の上で出合っているような錯覚です。能楽堂という特別な空間がそう感じさせたのでしょうか。能楽堂独特の音響設計がされている中での演奏は難しくもありましたが、そこでしか生まれ得ない音楽をお客様と分かち合うことが出来ました。

今回は狂言師とオペラ俳優の声、そしてアイリッシュフルートを加えた弦楽四重奏がどのように響き合うのか。たった一度の公演を最後までご堪能ください。

指揮 奥村 伸樹

令和のジャポニズムともいえる「五欲花」公演おめでとうございます。能装束を担当するに当たって和の美意識における生地への愛を改めて感じました。大きなお袖に象徴されるように素材を活かす意識で創作した装束が、舞台にどんな風を起こすのか楽しみです。

能楽シテ方観世流 山中 迺晶

今回の能楽堂コラボはバラードオペラ的な展開の中に新作狂言二作が登場します。第一部は来年初演予定の花魁オペラ「花焰(KAEN)」の第一幕から未発表のスピニアウト歌曲を入れた「忘八」。第二部は、オペラ「哀しみのシレーナ」に古典狂言の「釣針」と「蟹山伏」をトッピングした「釣吉」。「五欲」をテーマに江戸(講談)から室町(狂言)という時代によって変化する日本語の台詞とイタリア語歌曲とのマリアージュ。時代を超えてシニールな「可笑し」の世界を体験していただきます。能楽堂という二七〇度の特殊空間の中で洋楽と能楽のハイブリッドな交錯で生まれる新感覚をお楽しみください。

演出・舞台監督 植村 文明

番組

指揮 奥村伸樹 1stヴァイオリン 安藤梨乃 2ndヴァイオリン 神山里梨 ヴィオラ 柴田春音 チェロ 入江晴美 アイリッシュフルート 豊田耕三

【第一部】(吉原妓楼の場)

二人講談 神月 滂 新村 沢美

お調べ

アイリッシュフルート 豊田耕三

十兵衛と浮舟 花魁オペラ「花焰」一幕より

作詞/植村文明

作曲/武井浩之

訳詞/フランチェスカドナティ

十兵衛 モトイ 浮舟 ミッチー

江戸の華、吉原。花魁たちの華やかさとは裏腹に、大見世枯梗屋では忘八と呼ばれる悪徳店主の十兵衛が、客から金を巻き上げることにいつも血眼。遣手婆の浮舟は元売れっ子の花魁でありながら、今は若く美しい花魁たちを妬んで十兵衛と共に花魁たちを容赦無くなぶる始末。五欲にまみれた二人は華やかな江戸吉原の闇なのか。

現在公演準備中のオリジナルオペラ第三弾「花焰」第一幕から十兵衛と浮舟の場面を初披露。吉原の光と影を語る二人講談に続いて、十兵衛と浮舟が登場し吉原の男女の生き様を演じます。

サルヴェ・レジーナ パツヘルベルのカノン

作曲/ヨハン・パツヘルベル

サニー ミッチー

栄華を極めた花魁も時の流れには逆らえず、無情な世代交代の時を迎えます。カトリック教会の伝統的な祈禱の言葉で歌われる美しいマリア讃歌にのせて、妓楼に生きる花魁の苦悩と祈りを表現。神聖さに溢れる能楽堂に花魁たちの声が響きます。

ラ・カリファ 作曲／エンニオ・モリコーネ

マリアセレン モトイ 澤村 楽人

日本では未公開のイタリア映画「ラ・カリファ」のメインテーマ曲。不正や偽善に立ち向かう決意をし、愛や自由を求める心を歌う曲に、若い花魁が筆頭花魁になるまでの物語を重ねます。楼主の責苦に喘ぎ心が折れそうになったその時、彼女に恋心を抱く若衆に支えられ、花魁は『意地と張り』を取り戻すのです。

新作狂言 忘八

作／植村文明

監修・台本補綴 小笠原由禰

お調べ

アイリツシユフルート

豊田 耕三

シテ(盗人)

小笠原 由禰

アド(盗人)

小笠原 弘晃

小アド(瓦版屋)

神月 滂

小アド(妓楼主人)

モトイ

小アド(遣手婆)

ミツチー

小アド(花魁)

マリアセレン

サニー

ヤマザキーナ

真優

小アド(若衆)

澤村 楽人

穂坂雄大

小アド(禿)

小川 陽万里

南部 ひかり

片山 美迦

挿入歌 乾杯の歌 オペラ「椿姫より」 作曲／ジュゼッペ・ヴェルディ

妓楼の悪徳オナー、人でなしの十兵衛は八つの徳(仁・義・礼・智・忠・信・孝・悌)を忘れた忘八と呼ばれています。花魁をこき使う遣手婆の浮舟と組んで今夜も手練手管で客から金を巻き上げようと企んでいたところ、思わぬ客が現れます。なんと大店の旦那が女郎の身請けをしたというのです。前日に蔵から千両箱を盗まれ、金の工面に頭を痛めていた十兵衛は大喜び。宴で客人たちをもてなしますが、実はその客人たちは金を盗んだ盗人本人たち。ある理由があつて妓楼に戻ってきたのです。千両箱の細工で嘘がバレ、大騒動に発展します。金が全ての忘八十兵衛と忘八以下にはなりたくない盗人たち。そして笑顔を使い分けて立ち回る浮舟。妓楼を舞台とした喜歌劇です。

さようならノクターン

作曲／フレデリック・ショパン 作詞／植村文明

編曲／武井浩之 訳詞／フランチェスカドナティ

マリア セレン

マリアセレン待望の新曲で、本月初公開です。タイトルのノクターンとはショパンのこと。ジオルジュ・サンドとショパンの別れを歌っています。繰り返される歌詞「もうお会いすることはないでしょう」にはそれぞれ別の意味が込められています。一番は二人が過ごしたマヨルカでサンドを虐めた住民への皮肉。二番はショパンへの決別。そして最後に回想の中のショパンへの別れ。サンドはショパンに辛辣に別れを告げ、思い出に鍵をかけるのです。

(休憩二十分)

【第二部】(釣場)

新作狂言 釣吉

作／植村文明

監修・台本補綴 小笠原由禰

お調べ

アイリツシユフルート

豊田 耕三

シテ(太郎冠者)

小笠原 由禰

アド(主人)

小笠原 弘晃

小アド(釣人)

モトイ 澤村 楽人

小アド(海坊主)

マリアセレン

小アド(人魚)

ヤマザキーナ

小アド(女)

タカコ

小アド(蟹)

神月 滂 新村 沢美

挿入歌 悪い船乗りの歌 オペラ「哀しみのシレーナ」より 作詞／植村文明 作曲／武井浩之 訳詞／フランチェスカドナティ

僧に扮して大酒を喰らうという海坊主。うっかり釣針にかかり釣り上げられると、そこには先に釣り上げられた不老不死の人魚の姿が。その肉を食べようと、海坊主は百年も人魚を探し回っていたのです。海坊主は人魚を手に入れるため、それは不浄だから邪鬼払いをする偽りますが、目論みの邪魔をされた人魚は怒って本性を現します。海坊主と釣り人たちは逆に人魚の魔術にかかり精気を吸い取られ、全員小蝸にされてしまうのです。

古典狂言の演目から想を得て、大胆にアレンジした喜歌劇です。男の精気を吸う人魚はオリジナルオペラ「哀しみのシレーナ」の主人公シレーナに通じ、挿入歌にも「哀しみのシレーナ」からの一曲を加えています。シレーナの世界のパラレルワールドでもあるのかもしれない。

※小舞(狂言方が酒宴の場などで謡を伴って舞う短い舞)

ラデツキー行進曲

作曲／ヨハン・シュトラウス1世

真優 神月 滂 新村 沢美

毎年一月にウィーン・フィルハーモニー管弦楽団が開催する「ニューイヤークンサート」のアンコールで演奏される曲。観客が曲に合せて手拍子をするのが慣例となっています。手品仕舞をお楽しみください。

まことのやすらぎはこの世にはなく

作曲／アントニオ・ヴィヴァルディ

ミツチー

『四季』の作曲者でありカトリック教会の司祭でもあったヴィヴァルディによる宗教曲です。売れっ子であった頃の打掛けを纏った元花魁。この世には真の安らぎはないと悟り、せめてあの世では平穏にすごしたいと願います。「生きては苦界、死しては浄閑寺」と川柳にも詠まれた吉原花魁の悲哀と祈りを演じます。

ヌオーバ・チネマ・パラデイズ

作曲／エンニオ・モリコーネ

マリアセレン サニー

映画「ニュー・シネマ・パラダイス」の愛のテーマとして知られるモリコーネの代表作の一つで、遠く離れた恋人への想いを切なく歌っています。今回は、オペラ「花焰」の主人公、水戸浪士の雪之丞と花魁の頻伽に見立て、愛し合いながらも今生では二度と会うことのできない男女のすれ違いを能の幽玄の世界で表現します。

二人の装束は伝統的な能装束に現代的なアレンジを加えたものです。華やかな男性らしさ、可憐な女性らしさを色とドレープで表現し、敢えて狩衣という同じ能装束のスタイルで二人の心の絆を現しています。

アルビノーニのアダージョ

作曲／トマゾ・アルビノーニ レモ・ジャゾット

マリアセレン モトイ 澤村 楽人

雨の街で喪った女性を探し求める男。雨雲を払い、やがて晴れ間の光にその姿を見出します。しかし時間を戻すことはできず、男は失われた過去に涙を流すのです。

モンドパラルッコ歌劇団の男声コーラスの中でも人気の一曲です。過ぎ去った時間に想いを寄せ続ける男を熱く切ないハーモニーにのせて演じます。

ネツラ・ファンタジア

作曲／エンニオ・モリコーネ

マリアセレン モトイ 澤村 楽人

映画「ミッシェン」の中で宣教師ガブリエルがオーボエで演奏した印象的な曲です。ガブリエルは南米の先住民たちと音楽を通して交流していきます。「私は心の中で（ネツラ・ファンタジア）人々が自由にいられる安らぎと誠実に満ちた理想郷を夢見ている」とつけられた歌詞には、時も場所も超えて人々が夢見る世界への願いが描かれています

カルーソ

作曲／ルチオ・ダルラ

マリアセレン

オペラ史上最も有名なイタリア人テノール歌手の一人、エンリコ・カルーソに捧げられた曲。ボローニャ出身のルチオ・ダルラが、アメリカで活躍しながらも病気のために帰国し、若くして故郷で亡くなったカルーソの最期の想いを想像して作りました。人生の終わりをひしひしと感じながら、過ぎ去ったアメリカでの日々、そして最愛の女性への愛をたぎるように吐露する一曲です。

アモーレ・セイ・トゥーオールウエイズ・ラブ・ユー

作曲／ドリー・パートン

マリアセレン

映画『ボディガード』の主題歌として大ヒットしキャサリン・ジェンキンスがイタリア語でカバーした曲をマリアセレンが本日初公開します。「あなたをいつも愛している」と歌うサビがあまりに印象的ですが、「あなたの道を阻んでしまうから別れます」と告げている切ない別れのラブソングです。装束は玉虫色に輝くブルーの法衣をベースに現代的なアレンジを加え、イエローの長袴との色目を大事にしています。中世の装束に、昭和のエッセンスを重ねて、令和の今に思うべきメッセージを込めました。

附祝言 ザ ニュー ミー

原曲／グスターヴ・ホルスト 組曲「惑星」op.32より木星

作詞／植村文明

編曲／武井浩之

訳詞／フランチェスカ・ドナティ

全ての公演でプログラムの最後に必ず全員で歌います。固定観念から解放たれて新しい世界、新しい自分と出会おうと歌う、モンドパラルッコ歌劇団のシンボル曲です。

第一部

十兵衛と浮舟

花魁オペラ「花焰」より
作詞/植村文明 作曲/武井浩之
訳詞/フランチェスカドナティ

あちきはこの妓楼桔梗屋の遣手婆浮舟
元は売れっ子の花魁さ
この笑顔が縁起いいと評判だったもんさ
あちきが金運を呼ぶと評判になったもんさ
旦那衆からたんまりとご祝儀をいただいた
もんさ
今じゃ憎まれ役の遣手婆

おい浮舟! 準備はできているのか?
今日は大店の若旦那が御登楼だ
それも初めての吉原初登楼だ
妓楼の遊びを何にも知らねえ素人だ
景気のいい遊びを一から教えてやりな
気風がいい銭の払い方を教えてやりな
俺様は吉原一の忘八十兵衛
この妓楼の主だ

お武家様も旦那衆も
また来てください 何度でも 何度でも
よぉ~おっ!
ご鼠舩に! ご鼠舩に!

サルヴェ・レジーナ パッヘルベルのカノン

作曲/ヨハン・パッヘルベル
めでたし元后よ あわれみ深き母
お慈悲深くお敬虔でお優しい乙女
マリアよ

ラ・カリファ

作曲/エンニオ・モリコーネ
信じないで なぜなら
この支配者の残忍さが
私には見える
私もまた自らをあなたの鎖に繋ぐ
自堕落な女
偽善があなたの街を通り過ぎる時
この私の体もまたあなたたちと共にいて
卑劣さを罵るでしょう
あなたは私と一緒に
もっと素晴らしいものを見つけるでしょう
太陽があなたを探し出すために
私たちを照らし出すその瞬間に
あなたは私と一緒に
もっと素晴らしいものを見つけるでしょう
太陽があなたを探し出すために
私たちを照らし出すその瞬間に
私たちを照らし出すその瞬間に

歌詞（日本語）

乾杯の歌

オペラ「椿姫」より
作曲/ジュゼッペ・ヴェルディ
酒を味わおうではないか楽しい酒杯で
美が花を添える
そして儂く去っていく時が快樂で酔い
しれるように
酒を味わおうではないか
恋が呼び起こす甘いときめきの中で
あの抗い難い眼差しがこの心まで
届くが故に酒を味わおうではないか
盃を交わすうちに恋の口づけはより熱く
なるのだ

酒を味わおうではないか盃を交わすうちに
恋の口づけはより熱くなるのだ

皆様方の間におりますと私は自分の
楽しい時を共に分かち合うことが
できますの
この世の中では喜びでないものは全て愚
かなものなのですわ
楽しみましょう 儂くすぐにさっっていくもの
ですわ 恋の喜びは
それは生まれては枯れる花であり二度と
楽しむことはできませんわ
楽しみましょう心をそそるような
熱い言葉が私達を誘っているのですから

楽しもう酒杯と酒の讃歌は夜と楽しい
笑いを彩ってくれるのだ
この楽園の中に新しい日が我々を見出す
ように

人生は歓楽のうちにあるのですわ

人がまだ恋を一度もしたことがない限りは
そのようなことはおっしゃらないでください
ませ 恋を知らない者に

私の運命はそうなっているのです

楽しもう酒杯と酒の讃歌は夜と楽しい笑いを
彩ってくれるのだ
この楽園の中に新しい日が我々を見出す
ように

さようならノクターン

作曲/フレデリック・ショパン 作詞/植村文明
編曲/武井浩之
訳詞/フランチェスカドナティ

中世に漂う船歌 mucha calma
パルマの金色に輝く椰子の木々
冷たい雨季 マヨルカのひと冬
空はトルコ石色 海は瑠璃色
修道院の壁に溶け込むビアニーノの音色
Fandango さようなら 親愛なる村人たち
もうお会いすることはないでしょう
ああノアン 我が愛しのノアン
安らぎの土地 ノアン
爽やかな夏の風に包まれて
青色の寝室から生まれる幸運
光と緑の田園で育んだ愛の日々
青白い顔をしたMon Petitはぐっすり
ショコラ・ショールとフリカッセを作ってあげ
ましょう
ノクターン さようなら Petit Mon cher
もうお会いすることはないでしょう
白と赤の装い ボヘミアンラブソフィー
夜会の宵を華やく即興曲
一人であちらに旅立つ前にお便りください
ノクターン さようなら 親愛なる友
もうあなたは祖国に戻ることはないでしょう
ノクターン さようなら 懐かしいあなた
もうお会いすることはないでしょう
さようなら ノクターン

第二部

悪い船乗りの歌

オペラ「哀しみのシレーナ」より
作詞/植村文明 作曲/武井浩之
訳詞/フランチェスカドナティ

アイコーラ ソイコーラ 大漁だ!
アイコーラ ソイコーラ またとない幸運だ
アイコーラ ソイコーラ 大漁だ!
アイコーラ ソイコーラ 最高のお宝だ
アイコーラ ソイコーラ 高く売れるぞ! 高く
売れるぞ!
アイコーラ ソイコーラ

まことのやすらぎはこの世にはなく

作曲/アントニオ・ヴィヴァルディ
まことのやすらぎはこの世にはなく
苦渋なき真に純粹なる安らぎは
慈愛に溢れるイエス御身の中にこそ
苦悩と痛苦に挟まれても
魂は幸せに生きている
しみひとつない愛を持って

ヌオーバ・チネマ・バラディーゾ

作曲/エンニオ・モリコーネ
あなたが私の瞳の中に1日いれば 私が
あなたの瞳の中に見つけた最高の喜びを
あなたは知るでしょう
それは魔法でも忠義でもない
あなたが私の心の中に1日入り込んでくれれば
私がどんな風を感じているかわかってくれる
でしょう
あなたが私を強く抱き寄せた時 心と心が
一緒に呼吸した時の気持ちを
私はあなたの愛の主人公が魔法なのか
忠義なのかを知らない
あなたが私の魂の中に1日入り込んでくれ
たら私の内面をわかってくれるでしょう
あなたと一緒にだったあの瞬間に私が恋に
落ちていたことを
そして私が感じ取っているものそれは愛
に過ぎないの

アルビノーニのアダージョ

作曲/トマゾ・アルビノーニ レモ・ジャゾット
私は知らない どうしたらあなたと出えるのか
私は知らないどこにあなたを探したらよいのか
しかし私は一つの声を聞く その声は風の中で
あなたについて話している この心臓のない魂
はあなたを待っている
ゆっくりと 肌の触れ合いがない夜
星が輝くことがない夢 あなたの顔のイメージ
それらは突然に過ぎていく それらは私に
私があるときつか出会う(未来)という願いを
再び抱かせる ゆっくりと 私は目を閉じ
そしてあなたを見る 私は道を探す
その道は私を死ぬような苦しみへと連れて行く
私は私の中で この音楽が打ち響いているの
を聞く
この音楽はあなたのために私が作り出したもの
なのだ
もしあなたが 私と会うことができるなら
もしあなたが 私を探し出せるなら
わたしを抱きしめて 心の中では 私にとって
は太陽が消えてしまうかのように
あなたの名前を天に火で描いてくれ
私に言ってくれ あなたは誰なのか
私がある中で生きたいとあなたは誰なのか
私にとっては太陽が消えてしまうかのように
私を抱きしめて心の中で あなたなして迷う私を
私に言って あなたは誰
私はそれを信じるでしょう
あなたは音楽なのだ ゆっくりと

ネッラ・ファンタジア

作曲/エンニオ・モリコーネ
心の中で私は正しい世界を思い描いてみる
誰もが平和に暮らせる世界を
私は常に自由な心を夢見る
空の雲のように自由な
人間味に溢れた心を
私は常に自由な心を夢見る
空の雲のように自由な世界を
私の心の中には友達のように
街から街へ吹き抜ける暖かいそよ風が
ある
私は常に自由な心を夢見る
空の雲のように自由な
人間味に溢れた心を

カルーン

作曲/ルチオ・ダurla
ここ海は輝きそして風は強く吹くところ
ソレント湾に面した古いテラスの上で
一人の男が若い女を抱く
彼は泣いていた後だった
そして彼は声を整えるとまたその歌を歌う
おまえが好き とても好きとてもとわかる
だろう
もう鎖で縛りつけられてしまったように
血管の中を流れる血は沸き立ちそうだ わかる
だろう
彼は海の上の明かりを見た あのアメリカでの
夜(舞台での公演)の日々について考えながら
しかしただ漁師の明かりと 船跡(ふなあと)
の白い波があるばかりだった
彼はピアノから湧き出てくる音楽に苦痛を感じた
けれど雲からあらわれた月を見たとき
彼には死もまた快く思われた
彼は若い女の目を見た 海のような緑の目を
すると突然に一粒の涙が流れ
彼は泣きぬれていたことを覚えた
おまえが好き とても好きとても
とてもわかるだろう
もう鎖で縛りつけられてしまったように
血管の中を流れる血は沸き立ちそうだ
わかるだろう
おまえが好き とても好きとてもと
わかるだろう
もう鎖で縛りつけられてしまったように
血管の中を流れる血は沸き立ちそうだ
わかるだろう

アモーレ・セイ・トゥ ～オールウェイズ・ラブ・ユー

作曲/ドリー・パートン
このままここにいてもあなたの望む様な私
にはなれない
私はいくわ でもわかってる
あなたはこれからずっと私の中にいる
いまではもうあなたは私の愛
あなたは私の愛いつまでもあなたが
ずっと懐かしく思うでしょう
あなたと過ごした昼や夜のこと
私は人生を持ち去るわ
このほうがいいのそうよね
いまではもうあなたは私の愛
あなたは私の愛いつまでもあなたが
見つけられる様に祈ってるわ
あなたが夢見て来たことを
あなたの幸せは私の幸せ
私が遠く離れてもあなたは愛するでしょう
いまではもうあなたは私の愛
いつまでもあなたが
いまではもうあなたは私の愛
あなたは私の愛あなたは私の愛
いつまでもあなたがあなたが
あなたが私の愛

The New Me ～栄光への賛歌

原曲/グスターヴ・ホルスト作曲
組曲「惑星」op.32より木星
作詞/植村文明 編曲/武井浩之
訳詞/フランチェスカドナティ
神の栄光に守られて 我らは共に苦難を
乗り越えよ
囚われし魂を宇宙に解放て
新しき世界が待っている 新しき自分が
待っている
神の栄光に守られて 我らは共に苦難を
乗り越えよ
囚われし魂を宇宙に解放て
新しき世界が待っている 新しき自分が
待っている

出演



小笠原 由禰

能楽狂言方和泉流
重要無形文化財保持者総合認定



小笠原 弘晃

能楽狂言方和泉流

ソルボンヌ大学舞台芸術学科在学。
フランス地方音楽院CRR Boulogne-Billancourt在学。
パリ在住。能楽協会会員。MondoParallelo歌劇団研修生。

真優(マジシャン ゲスト出演)



広島県出身。好きなものはチョコレートで趣味はそうじ。
職業マジシャン。
テレビ、舞台、マジック演出、マジック教室、司会など幅広く活動中。
ハイクオリティパフォーマー派遣 WORKS LIKE MAGIC Inc.代表。

コーラス 中山 主水(Basso) 坂部 愛(Soprano)



指揮 奥村 伸樹

宮城県出身。国立音楽大学卒業。これまで、オーストラリア、イタリアをはじめ、西欧、東欧、北欧諸国など、ヨーロッパ各地10か国以上に渡り様々なオーケストラや合唱団を指揮。MondoParallelo歌劇団オペラ「哀しみのシレーナ～禁断の恋～」 「神の湖」の世界初公演を指揮。クラシックから、ポップス、映画音楽はじめ様々なジャンルのオーケストラを独自のスタイルにて活動を展開する。



1stヴァイオリン
安藤 梨乃



2ndヴァイオリン
神山 里梨



ヴィオラ
柴田 春音



チェロ
入江 晴美



アイリッシュフルート
豊田 耕三



小川 陽万里
(劇団ひまわり)



南部 ひかり
(劇団ひまわり)



片山 美迦
(劇団ひまわり)

出演 (MondParallelo歌劇団)

Maria Seiren(Soprano/Tenore)



東京都出身。2017年オペラ「哀しみのシレーナ～禁断の恋～」世界初公演、2019年オペラ「神の湖」の世界初公演、2020年能楽堂コラボ「音華の祈り」公演を一人二役で演じ各界から注目を集める。ソプラノとテノールの声を歌い分ける両声切替歌唱は衝撃を与え、性を越えた謎の歌の精として、新作オペラや単独コンサートの他テレビ・ラジオ・CM・企業イベント等に出演。喜多流能楽師粟谷明生氏に師事。MondoParallelo歌劇団団長。

Mitzy (Soprano)



3期生。北海道出身。昭和音楽大学大学院修了後、イタリアにて研鑽を積む。「愛の妙薬」「メリー・ウィドウ」「椿姫」「ドン・ジョヴァンニ」「魔笛」「サントリヨン」「ラ・ボエーム」「こうもり」「カヴァレリアアルスティカーナ」「アンドレア・シェニエ」「仮面舞踏会」「トスカ」等多数のオペラでプリマソプラノを務める他、オラトリオ「メサイア」等多数の演奏会に出演。昭和音楽大学付属音楽・バレエ教室声楽講師。

神月 滢(俳優)



1期生。東京都出身。青山学院大学経営学部卒業。文学座附属演劇研究所を経て、「奇跡の人」ヘレンケラー役、二人芝居「父と暮らせば」、座・高円寺2音楽劇「HARVEST」teamオムレット、大分県音の泉ホール「アルテヴィーヴァオペラコンサート」蝶々夫人の母親役、tpt91「エンジェルズインアメリカ」天使役、「一人芝居ミュージカル短編集」、「神の湖」世界初公演にてアベ役で出演。

ヤマザキーナ(俳優)



4期生。宮崎県出身。ワタナベエンターテイメントカレッジスクール卒業。マリアセレン家の能天気なO型メイド。マリアセレンサロンコンサートに多数出演し、乱高下のハイテンションキャラはファンが多い。
2021年2月新曲「おはようSuperMaid ChuChu♡Chu」を発表。モノマネ芸人。喜多流能楽師粟谷明生氏に師事。

TAKAKO(俳優)



5期生。東京都出身。佐渡育ちパリ在住。学生時代に演劇活動を開始。故八世野村万蔵師(狂言)、須藤武子師(日本民俗舞踊)、いいむろなおき師(バントマイム)、アンジェロ・クロッチィ師(イタリア仮面劇)に師事。NHK時代劇ドラマにて舞踏指導、NHK連続テレビ小説では所作指導担当。2014年よりパリへ移り住み狂言普及活動を続けつつ、舞台、映像作品に参加。映画、音楽、大好き人間。在仏日本人会コラム連載中。

Sunny (Soprano)



2期生。東京都出身。東京藝術大学音楽学部声楽科卒業。洗足学園音楽大学大学院音楽研究科修了。大学院在籍中、前田音楽奨励賞受賞。第12回大阪国際音楽コンクール声楽部門Age-G歌曲コース第2位(最高位)などを受賞。イタリアにて研鑽を積む。オペラでは「ラ・ボエーム」「椿姫」「魔笛」など多数出演。またソリストとしても多岐に亘り演奏活動を行っている。2020年新曲「Daydream Coin」を発表。「神の湖」世界初公演にて兼役で出演。

MO-TOY (Baritono)



1期生。広島県出身。名前はMO(小さな)-TOY(土)、「小さな土」という意味です。「その小さな土に種を植え、育て、真の花を咲かせる」。その願いを込めて。
2019年、オペレッタブル歌劇「神の湖」世界初演にて鬼塚重四郎役で出演。来年公開の花魁オペラ「花燦」では、吉原の忘八・十兵衛として出演予定。

新村 沢美(俳優)



1期生。千葉県出身。早稲田大学第一文学部卒業。PAI卒業。ミュージカルシアターヒラソルに旗揚げより参加し「イノセントムーン」「ミーザ」主演など全公演に出演。他に風プロ、若者の命を支えるミュージカルなどに出演。振付としても多くの舞台に携わる。作演出品にミュージカル「シアター・ストーリー」「ラフカディオ」など。「神の湖」世界初公演にてチルタ役で出演。

澤村 楽人(Tenore)



4期生。岩手県出身。国立音楽大学音楽学部演奏学科声楽専修卒業及び声楽コース修了。武蔵野音楽大学大学院音楽研究科博士前記課程声楽専攻修了。武蔵野音楽大学研修員、洗足学園音楽大学演奏補助要員を経て劇団四季演目契約メンバーとなり、全国各地の「ノートルダム」の鐘にクワイヤとして出演。他にも様々なオペラや演奏会、録音に出演している。

穂坂 雄大(Basso Baritono)



5期生。東京都出身。武蔵野音楽大学音楽学部声楽科卒業。在学時nippon symphony concert vol.26 summer festival 第九under solisteに抜擢。「フィガロの結婚」「コジ・ファン・トゥッテ」「椿姫」「ラ・ボエーム」「仮面舞踏会」の主要バス及びバリトン役で出演。これ迄に岸本力に師事。当歌劇団の末っ子。

MondoParallelo 歌劇団

MondoParallelo歌劇団は、「愛と平和」「国際文化交流」「ジェンダー平等」をビジョンに掲げ、2018年6月に創団されました。MondoParalleloとは、男と女、正と邪、あの世とこの世など相対する2つの時空間を行き交うパラレルワールドという意味です。イタリア語でオリジナル歌曲を作り、能楽的演出をとり入れ、世界に発信できる日本らしい歌劇様式を探求しています。演者は日頃より能楽など日本の伝統芸能の身体感覚を養う稽古に励んでいます。斬新な企画でエンターテインメント性が高いクラシッククロスオーバー的な歌舞パフォーマンスはオペラの敷居を下げ、特に能楽堂コラボ公演はオペラと能楽の融合の実験的な取り組みとして注目を集めています。声楽部・演劇部・研修生・合唱団とスタッフ合わせて総勢40人の新しい歌劇団です。



演出・舞台監督 植村 文明

慶応義塾大学法学部政治学科卒。演出家・オペラ劇作家・作詞家。博報堂を経てマリアセレンとともにMondoParallelo歌劇団を設立し、オペラ・コンサート・イベント・MV等をプロデュースする。喜多流能楽師栗谷明生氏に師事。

音楽監督
コレペイトル
声楽指導
演出助手
ヘア&メイク

武井 浩之
経種 美和子
志田 雄啓
新村 沢美
上田 美江子
吉田 馨

能楽監修
狂言監修
衣装デザイン・制作
装束制作
日舞監修
舞台係

栗谷 明生(能楽シテ方喜多流)
小笠原 由禰(能楽狂言方和泉流)
山中 迺晶(能楽シテ方観世流)
山中 ソラ
西川 鯉粧
野村 万之丞 野村 拳之介
山下 浩一郎 河野 佑紀
(能楽狂言方和泉流)

照 明
スチール

前野 はるみ
里見 香苗
袴田 優作
磯脇 哲夫
清家 拓
山崎 那実

ムービー
協力会社
企画制作

ハイデー(株)
WORKS LIKE MAGIC Inc.
(株)モンドパラレロ

題字：大隈 優子

フラワーデザイン・制作：中島 有理子

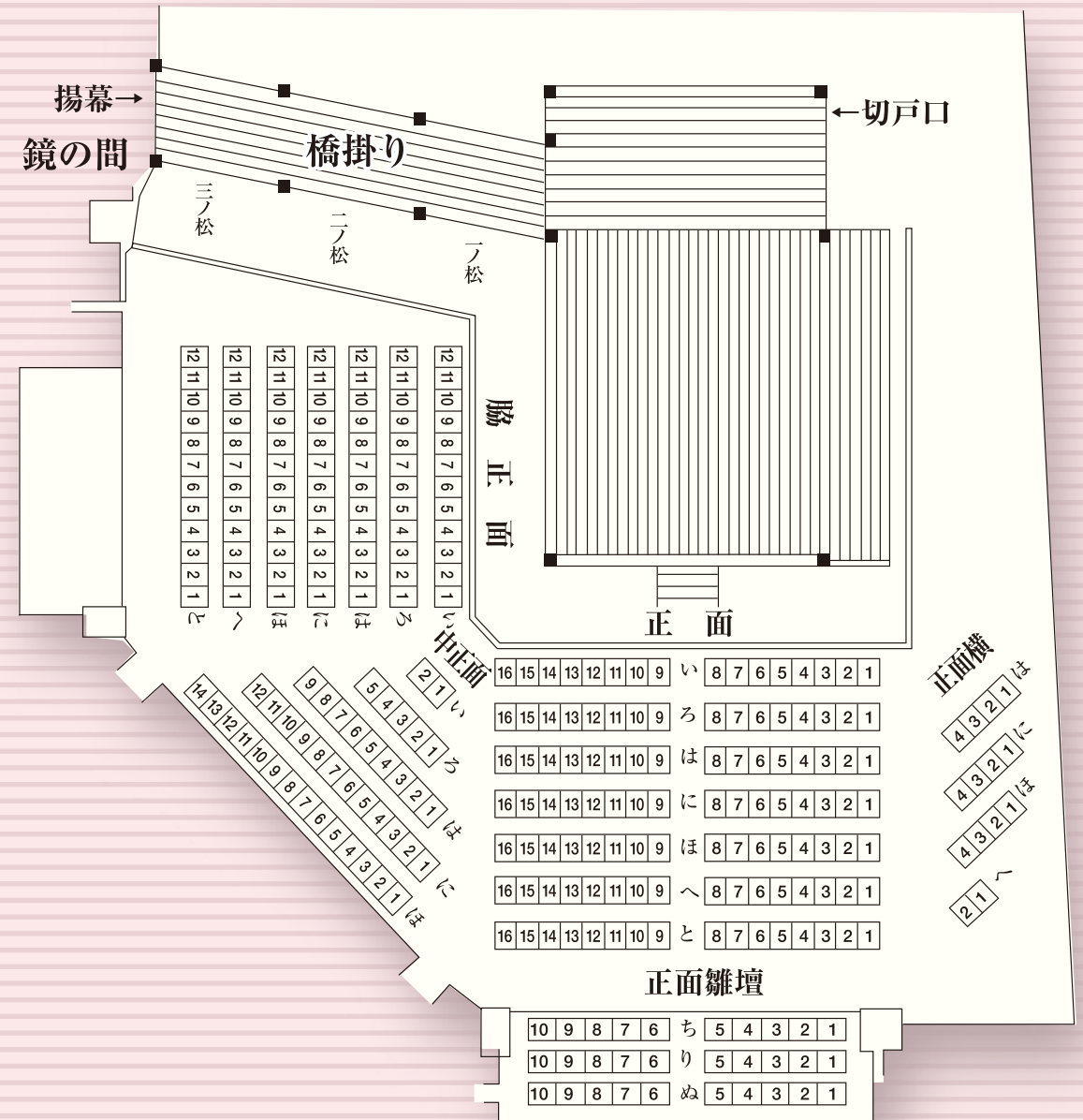
グラフィックデザイン：アドスタッフ

禁 無断複製・転載

梅若能楽学院会館座席表

正面席には種類があります。お手持ちのチケットの席番をお確かめください。

(脇正面敷席・補助席除く)



客席場内の空調は換気に万全を期するため、外気の取り入れを行いますのであらかじめご了承ください。